

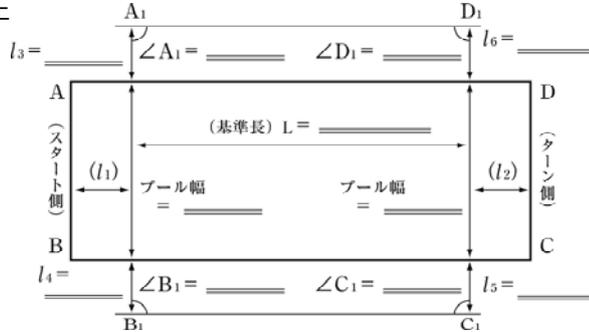
1. プールの名称  
 2. 測量条件 日時 20 年 月 日 時～ 時  
 天候 気温(T) °C  
 鋼巻尺の日本水泳連盟登録番号 (Cl= )  
 光波計メーカー 型式

加盟団体名	
公認測量者署名	印

3. 基準点、寸法及び四隅の角度(二重アンダーライン上に数値を記入するこ

(甲) A1D1(=B1D1)の測定値=24,600m  
 (50mプールにあっては49,600m)(実施要領2-1参照)

(用) A1D1 ( °C)=  
 CP=A1D1 β (P-Po)=  
 Ct=A1D1 α (T-To)=  
 L =A1D1+Cp+C+Ct=  
 Cp:張力による補正值(m) P:測定時の張力(kg)  
 Po:指定張力 Ct:温度による補正值(m)  
 α:使用する鋼巻尺の膨張係数 T:測定時の気温(°C)  
 β:使用する鋼巻尺の張力補正係数  
 To:使用する鋼巻尺固有の標準温度  
 Cl:器差による補正值



(火) l1, l2 の計算  $\frac{l1 \text{ の総合計} =}{5 \times \text{コース数} =}$  = (ターン側)  $\frac{l2 \text{ の総合計} =}{5 \text{ (又は4)} \times \text{コース数} =}$  =

(水) 四隅の角度

測角点	初 読	終 読	3倍角	平均 値
∠A1				
∠B1				
∠C1				
∠D1				

(木) プール長(各コースごとのl1及びl2のそれぞれの最大値に○、最小値に△をつけること。赤色マーク)

コース	測定点	スタート側		ターン側		L+l1+l2	コース	測定点	スタート側		ターン側		L+l1+l2
		l1	l1-l1	l2	l2-l2				l1	l1-l1	l2	l2-l2	
0	1						5	1					
	2							2					
	3							3					
	4							4					
	5							5					
最凸部のl1+3のl2+L=							最凸部のl1+3のl2+L=						
1	1						6	1					
	2							2					
	3							3					
	4							4					
	5							5					
最凸部のl1+3のl2+L=							最凸部のl1+3のl2+L=						
2	1						7	1					
	2							2					
	3							3					
	4							4					
	5							5					
最凸部のl1+3のl2+L=							最凸部のl1+3のl2+L=						
3	1						8	1					
	2							2					
	3							3					
	4							4					
	5							5					
最凸部のl1+3のl2+L=							最凸部のl1+3のl2+L=						
4	1						9	1					
	2							2					
	3							3					
	4							4					
	5							5					
最凸部のl1+3のl2+L=							最凸部のl1+3のl2+L=						